

令和2年12月、ホームページを全面リニューアルしました。

見やすく、より情報を探しやすいよう構成やデザインを刷新しました。ホームページは、スマートフォンやタブレット端末に対応しています。

また、公式Facebookページを開設しています。Facebookでは私たちの取り組みやイベント情報をできるだけ身近に感じていただけるよう発信していきます。

是非、「いいね!」を押してFacebookをご覧ください。多くの皆様にご利用いただけるよう内容の充実を図ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

ホームページQR



スマートフォンのFacebook画面

スマートフォンのホームページ画面

Facebook QR



センターからのお知らせ

- 1.ひとり親補助受取に関するお知らせ** そらまめサポートでは、ひとり親家庭等の皆さまのご利用へのサポートとして、利用料金の半額補助制度を取り入れております。令和3年1月より、補助金の受取り方法を【偶数月の口座振込(振込手数料は支払者負担)】に変更させていただきます。申請は、これまで通り月単位で、毎月または複数月分をまとめて翌月の10日迄に申請ください。
- 2.支援料お払いの際の留意事項(おつりのないように)** 利用会員さまへお願いです。スタッフ会員さまに利用料をお支払いいただく際は、前もって金額をご確認いただき、お手数ですが、両替をしておつりのないようにご準備をお願いいたします。
- 3.ファミサポ補償保険に関するお知らせ** そらまめサポートでは、傷害保険に一括加入しています。加えて令和3年度からより安心して活動が行えるよう「移動サービス専用自動車保険」に加入します。これまで通り会員のみなさまの費用負担はありません。

編集後記 コロナ禍の中で、ファミサポとして何ができるのかを問い続けた1年となりました。先の見えない不安な状況だからこそ、人と人とのつながりを大切に、これからも子育てのお手伝いできればと思います。(I) 令和2年度は、10周年の節目でした。そこでこの一年、通信やそらカフェで感謝の気持ちをお伝えしてきました。そしてさらに10年後みなさまとともに20周年を迎えることが出来れば幸いです。(T)

● 支援料について

基本時間帯(7:00～20:00)1時間あたりの料金

- 基本(元気な時の子ども)預かり **600円**
- 病児・病後児預かり **800円**

ひとり親家庭等補助制度あります。

利用料の半額補助され、上限 6万円(年間)までです。

● 保育ルームの利用

*事前連絡要。利用無料。

親子で、お友達同士でご利用ください 飲食可能です。

平日/9:30～17:00 土曜/10:30～14:30

● 「そらまめちゃん」

元気な時の預かりです。(ファミサポの基本預かりと同じ)

利用料金 / 1時間当たり **600円**

● きしがわそらまめちゃん

場所/そらまめサポート保育ルーム(貴志川町神戸327-1旧貴志川分庁舎3階)

平日/9:30～17:00 土曜/10:30～14:30

● あいあいそらまめちゃん

場所/岩出市総合保健福祉センター(岩出市金池92)

水・金曜/10:00～15:00

*いずれも、詳細につきましては、そらまめサポートにお問い合わせください。

いわで・きのかわ ファミリー・サポート・センター「そらまめサポート」

〒640-0413 紀の川市貴志川町神戸327-1旧貴志川分庁舎3階
Tel. 0736-60-4337 Fax. 0736-60-4338

メール isora@comdesign-npo.com

ホームページ <http://www.kii-kodomo.jp/cnts2/isora/>

フェイスブック「いわで・きのかわファミサポ」で検索

開所時間/月～金曜 9:00-17:30

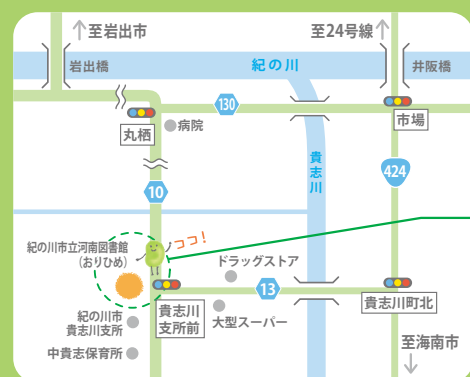
土曜 10:00-15:00

(日・祝・夏季休暇・年末年始を除く)

毎週水・金曜日は、岩出市あいあいセンターでも入会受付をしています。

(時間10:00～15:00 祝・年末年始、下記日程を除く)

* あいあいセンター休み(入会受付、あいあいそらまめちゃんはお休み)/令和3年8月13日(金)



そらまめサポート通信 14

会員数・利用会員...848名・スタッフ会員...184名・両方会員...39名・合計...1,071名(R3.2月28日現在)



集中!

TOPIC

- 令和2年度、そらまめサポート活動報告
- 移動サービス専用自動車保険に加入
- コラム「コロナ時代の食育」松崎 博子氏
- ホームページリニューアル & Facebook やってます



「そらまめサポート」レポート

会員数 R3年2月28日現在

	岩出市	紀の川市	和歌山市	伊都郡	その他	合計
利用会員	445	338	23	8	34	848
スタッフ会員	96	66	13	5	4	184
両方会員	22	16	1	0	0	39
合計	563	420	37	13	38	1,071

サポート件数 R2年4月1日～R3年2月28日現在

岩出市..... 510件（内：病児、急な依頼・3件）

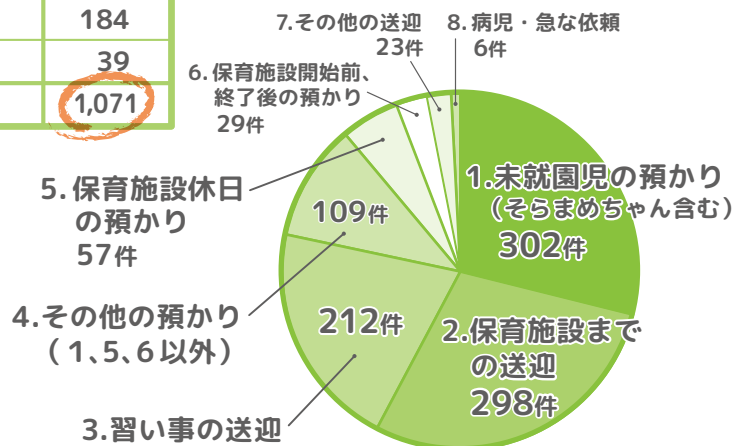
紀の川市..... 524件（内：病児、急な依頼・3件）

その他..... 2件（内：病児、急な依頼・0件）

* 合計..... 1,036件（内：病児、急な依頼・6件）

サポート内訳

R2年4月1日～R3年2月28日現在



令和2年度 子育て応援講座 報告

子育て応援連続講座

この講座を受講されるとスタッフ会員に登録ができます。



第2回 日時:

- ①10月16日(金) ④10月29日(木)
- ②10月20日(火) ⑤11月6日(金)
- ③10月26日(月) ⑥11月13日(金)

場所: 紀の川市貴志川支所

参加人数: のべ112名

- 絵本の読み聞かせの具体的なアドバイスが聞いて良かった。
- エビエンの練習ができ、使うタイミングも知ることができて良かった。

第1回・春

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言に伴い、開催中止

子育て応援講座

毎回、違ったテーマで子育てに役立つ知識や情報をお伝えします。



第1回

7月9日(木) 「こどもの特性とサポート方法」

講師: 藍野大学 医療保健学部 作業療法科 講師 尾藤 祥子氏

場所: 打田生涯学習センター

参加者: 22名

- 姿勢作りの大切さを学ばせていただきました。
- 親として心に刺さる話が多く、様々な視点から子どもを見れるようになっていきたいなと思いました。



第2回

9月9日(水)

「CSP幼児版紹介講座」

講師: ボーイスタウン認定講師 松本 千賀子氏

場所: 紀の川市貴志川支所

参加者: 15名



第3回

R3年1月15日(金)

「こどもの笑顔と安全を守るために」

～ファミサポにおけるリスク管理を理解する～

講師: 和歌山大学経済学部准教授 金川 めぐみ氏

場所: 岩出市総合保健福祉センター (あいあいセンター)

参加者: 10名

- 「ヒヤッ」「ハッ」をなくすために、いろんな事例を共有し、年齢に応じた対応をする必要があると思いました。
- 大丈夫だろうと思いきや、キケンを察知し、リスクを考えることの大事さを学びました。
- 利用者さんとの信頼関係を持つことの大切さを改めて感じました。

保育実習レポート

そらまめサポートでは、子育て応援連続講座を受講後、会員登録された新規スタッフ会員さまに保育実習を実施しています。保育実習は、ファミサポでの活動の体験、およびアドバイザーとの連携を測る目的で実施しています。

- 預かり経験 ● 保育・教育の仕事をしていた ----- 1人
- 知人のこどもや孫を預かったことがある ----- 3人
- 経験なし ----- 2人

- ・短い時間でしたが、絵本と一緒に読んだり、かくれんぼをしたり楽しい時間を過ごすことができました。こどもさんの笑顔に癒されました。
- ・おもちゃを選んで出して片づける。どれもが遊びのひとつかと思えました。
- ・そらまめでのお預かりに慣れているお子さんだったようで、こちらが楽しませていただきました。

新スタッフさまの感想



そらまめサポートは、地域みなさんと一緒に地域の子育てを応援します。 利用入会は、常時受付けています。

10周年目に感謝を込めて

「そらまめサポート」は令和2年6月、10周年を迎えました。このコロナ禍により記念イベント等は開催出来ませんでしたが、毎月のスタッフ会員さまの集いの場である「そらカフェ」にて、年間を通し私たちの感謝の気持ちをお伝えしてまいりました。あいにくご都合が合わずお越しいただけなかったスタッフ会員さまには感謝状を郵送いたしました。スタッフ会員さま、及び私たちの活動にご理解ご協力いただく会員のみなさまに心より感謝いたします。

また、これからも皆さまとともに地域子育てを応援する活動が出来れば幸いです。

「そらまめサポート」アドバイザー一同



松崎先生 食育コラム



松崎 博子先生

和歌山信愛女子短期大学非常勤講師
食生活アドバイザー・栄養士
和歌山県食生活バランスガイド専門委員
そらまめサポート「子育て応援連続講座」講師

先生の食生活に対するスタンス

- 料理はまず美味しいこと
- 家庭料理は身体を養生するものであること
- 『アレンジ・リメイク』力をつけて楽しむこと

コロナ時代の食育

「丁寧な手洗いやうがい・せきエチケット・身体的距離の確保・3密を避ける」など個人でできる新型コロナウイルス感染症への予防策はもちろんですが、万が一感染した時に備えて体に抗体ができるまでの1～3週間、高熱や肺炎に耐えうる感染防御能(免疫力)が保てるよう、体調管理を意識した生活を心掛けることは更に大切です。自粛や活動の制約などでストレス気味の時は休養や睡眠を充分にとり運動不足にも留意しましょう。また、食事面では一日(朝・昼・夕)3回の食事は欠かさず、毎回の献立には「主食(ごはん・パン・麺類など)・主菜(肉・魚・大豆製品・卵などがメインのおかず)・副菜(野菜・海藻・芋類などがメインのおかずを一日5皿)」を揃え、牛乳・乳製品や果物なども摂りましょう。

コロナウイルスの流行で健康への関心が高まった方も多いのではないのでしょうか。健康は一日にしてならず、日々の糧が体をつくり命を守っていること、健康維持の必要性を今改めて感じます。

サポートでの感染予防のお願い

以下はサポート時、スタッフ会員さまと利用会員さまに共通の感染予防のための取り組みです。ご協力をお願いします。

- サポート前日及び当日、検温をしましょう。
- サポート前は石鹸を使用した20秒手洗い。 ※タオルの共有はしない。個人専用のタオルをご準備ください。
- 小学生のお子さまには、サポート中のマスク着用をお願いします。保護者の皆様は、支援料受渡及び大人同士の会話の際、マスクを着用しましょう。 ※WHO とユニセフでは、5歳以下の子供は必ずしもマスク着用にごこだわらなくてよい、としています。(2020.8.25)
- 密を避ける。定期的に換気する。 ※送迎時の車内は「外気導入モード」が望ましい。利用会員宅でのお預かりの場合、換気扇または喚起窓の確認をしましょう。
- サポート対象児、スタッフ会員さまともに、風邪のような症状がある時はサポートを控えてください。お互いが安心できるサポートであるように上記のような対応をお願いします。 また、依頼やサポートに不安がある時は事務所までご相談ください。



スタッフ会員は随時募集中です。 詳しくは、お問い合わせください。